

肺モニタ

肺モニタ はいもにた

肺モニターは、肺に吸入沈着した Pu-239 等放射性物質を計測するための装置である。プルトニウムの場合は Pu-239 から放出される低エネルギー X 線を検出するもので、直径 $12.5 \sim 20 \text{ cm}$ 、厚さ数 mm の NaI (Tl) シンチレータまたは逆同時用計数管を内蔵する大型比例計数管が用いられている。数十分の計測で最大許容肺負荷量($\text{Pu-239 } 16 \mu\text{Ci}$)程度が検出できる。しかし体内での吸収の補正や肺中での Pu-239 の分布の相違の補正等のため正確な定量は容易ではない。

<登録年月>

1998年01月
